

海外安全対策情報

【2025年4月～6月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などにつ
いて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

また、日本国内でも多発している警察官等を名乗る特殊詐欺について、当地在留邦
人にも電話し、個人情報、制服、身分証、逮捕状などを示すなどして警察官と誤信さ
せインターネットバンキングを介して送金させる手口が発生しています。注意点とし
ては下記のとおりです。

- 警察官等が突然スマホにビデオ通話やSNSで連絡することはありません。
- 警察官が警察手帳や逮捕状の画像を送ることは決してありません。
- 例え、ビデオ通話で身分証を提示されても絶対に信用せず、不審な電話等は
一度電話を切って当館又は最寄りの警察機関などにご相談ください。
- 相手から教示された番号には、決して折り返さないでください。（詐欺は日々巧
妙化し、手口は変わっていきます。）
- 実在する警察署等の電話番号を偽造して表示させる手口も発生しています。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮
等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の
電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが徹底されており、自分が飲酒後運転しな
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間に盛り場
などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意
しながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華美な服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

また、（特に酔った後など）日本語で大きな声を交わしながら歩かない。

3. 事件・事故報道

(1) 凶悪・粗暴事件関連

ア 傷害致死（青島市）

5月18日午後4時頃、容疑者王某（35歳）は自宅において実子（9歳）を襲として殴打（程度不詳）し、怪我を負わせたものであるが、同日午後7時、実子は病院へ搬送され救命処置が施されるも死亡する傷害致死事件が発生した。黄島分局は王某を刑事拘留し、捜査中としている。

イ 刃物使用による殺人事件（淄博市）

5月25日午後7時30分頃、山東淄博人民公園において刃物使用による殺人事件が発生し、1人が死亡、1人が負傷していたことが新聞記者の取材によって明らかとなった。公安からの事件公表はないものの、同公園を管理する淄博氏都市管理局は新聞記者に対して「本件は刑事事件であり、既に公安部門が捜査している。」と発表している。

(2) 窃盗事件関連

ア 窃盗事件（済南市）

4月、済南市公安局は、企業内において製品の副産物である銅を盗み取る大規模な窃盗事件を摘発し、容疑者6人を刑事拘留、経済損失650万余元の被害回復をしたと発表した。容疑者のうち李某、劉某は同企業の生産部長を務めており、変圧器の製造過程で一部の銅が副産物として定期的に発生することに着目し、職務上の地位を利用して、会社内では銅を材料損失として計上しつつ、実際は売却して利益を得ていた。被害額は約700万元にものぼり、警察は容疑者等の関連する銀行口座を凍結して企業の損失650万余元を回収した。

イ 工事場ねらい（膠州市）

4月、膠州市公安局は、工事現場において多数の工具、鉄パイプなどを盗んだとして容疑者張某、劉某を刑事拘留し、10万元相当の盗品を押収したと発表した。事件端緒は、工事現場の職員が資材点検を行い、不足分が判明したことから、被害通報へ至った。容疑者等は1月から3月にかけて複数の工事現場においても盗みを繰り返したと余罪を供述している。

ウ 万引き（済南市）

4月、許商派出所は、スーパーにおいてお茶、お酒、お菓子などを万引きした容疑者5人※を検挙したと発表した。容疑者は、同郷出身で家出をしていたところ、お腹が減ったので万引きしたと供述した。警察は1人を行政処分、4人を嚴重注意処分とした。※少年と思料。

エ 侵入窃盗事件（淄博市）

5月、荊家派出所は市民から小学校※内の配電装置などが破壊され、装置電線ケーブルが盗まれているとの通報を受理した。防犯カメラ映像などの解析から容疑者等は小学校内へ侵入し、ペンチなどを利用してケーブルを窃取している状況

が明らかとなった。盗品のケーブルは既に転売されていたが、警察は容疑者 10 人を検挙したと発表した。※廃校と思料。

オ バッテリー連続窃盗（膠州市）

6 月 4 日早朝、膠萊派出所は市民から電動自転車などのバッテリーが盗まれているとの十数件の通報を連続して受理した。防犯カメラ捜査をもとに、電動三輪車を利用して流しながら犯行している容疑者を特定し、6 日午後、数百キロメートル離れた青島市において容疑者張某を逮捕した。容疑者張某は、逮捕されるまでの 3 日間においてバッテリー 60 個盗んだと余罪も供述した。

カ 病院荒し（臨沂市）

6 月、郯城县公安局は、病院内における携帯電話窃盗事件の発生から 5 時間後に事件を解決したと発表した。警察の発表によると、看護師から職場内において携帯電話が盗まれたとの通報を受理し、防犯カメラ捜査を確認したところ、半年前に出所した窃盗常習犯の容疑者岳某が病院へ侵入し、被害品の携帯電話を窃取し立ち去った状況が明らかとなった。警察は公園で寝ていた容疑者岳某を刑事拘留し、岳某は容疑を認めているという。

キ 車上ねらい（東営市）

6 月 17 日午後 5 時頃、浜海公安局は市民から自転車のカゴに入れた新しい携帯電話が盗まれているとの通報を受理した。警察は、防犯カメラ映像から中年女性が被害携帯電話を窃取している様子を確認するとともに身元を割り出し、翌日午前 11 時に容疑者を検挙した。

（3）詐欺事件

ア 邦人被害

4 月、当地在留邦人被害にかかる日本国内でも多発中の警察官等を名乗る特殊詐欺事件が発生した。詐欺の手口について、被疑者等は当地在留邦人へ電話連絡し、ラインアプリへの連絡に誘導した後、被害者の個人情報、警察官の制服及び身分証、逮捕状等を示すなどして警察官等と誤信させ、インターネットバンキングを介して多額の現金を送金させるものであった。

※ 注意点としては、当海外安全対策情報 1 ページ目記載のとおり、警察官等が突然スマホにビデオ通話や SNS で連絡することはなく、警察手帳や逮捕状の画像を送ることは決してありません。不審な電話等は一度電話を切って当館又は最寄りの警察機関などにご相談ください。（実在する警察署等の電話番号を偽造して表示させる手口も発生）

イ 詐欺（済南市）

4 月、明水第二派出所は、人気コレクションカードを購入したが、商品が届かないとの詐欺事件を受理した。事件について、被害者の娘はインターネットで人気コレクションカードを購入したが、商品は発送されないまま相手方と音信不通となり詐欺被害に遭った状況である。警察は容疑者陳某を検挙するとともにカード購入代金の押収、被害回復を行った。

ウ 成りすまし詐欺（済南市）

4 月、奥体中心派出所は、会社の社長に成りすまして職員から会社のお金をだまし取る詐欺事件を検挙したと発表した。事件概要について、会社の財務管理職を勤める被害者劉某は、ある日、会社の社長を名乗る人物等がいるウィーチャットグループに招待され、成りすましの社長と認識できず、600 万元の送金指示に従った。劉某は、本来の社長から上記送金事実の用途を確認されたことにより、自身が詐欺被害に遭遇したことを認識し、警察へ通報した。警察は「本件は成りすまし詐欺の典型的な例であり、詐欺師は教師、客、社長など様々な役を演じ、より巧妙化している。」と注意喚起した。

エ 詐欺（済南市）

5 月、巨野河派出所は、診療所での救命行為に過失があったとする虚偽の資料を用いた詐欺事件を摘発し、容疑者 3 人を検挙したと発表した。調べによると、容疑者曹某は、診療所での受診中に意識不明を装い、容疑者と共に来院していた共犯者苗某、劉某が、救急車を呼ぶとともに、診療所での医師による救命措置及び救急車の同乗を拒否した。後日、共犯者苗某は当該診療所の医療過誤により容疑者曹某が死亡したとする偽造文書を提出したが、看破されるとともに警察への通報に至り逮捕された。

オ オレオレ詐欺（済南市）

6 月、歴下公安局は、2 省に跨がる広域オレオレ詐欺事件の容疑者計 5 人を検挙したと発表した。事件概要について、高齢被害者（89 歳）は孫を名乗る人物から電話を受け、暴行事件の保釈金 10 万元が必要と依頼され、当日、約 7 万元を準備した後、受け子に現金を手交した。警察は捜査の結果、詐欺グループの幹部 2 人、掛け子、受け子、運転手を特定、検挙するとともに被害金全額回復に成功した。

カ ネットウイルス利用の詐欺事件（平度市）

6 月、平度市公安局詐欺防止センターは、ネット空間において市民李某が電信詐欺被害に遭遇している可能性が高いと覚知し、各種調査を経て同人の娘と協力し、被害を防止したと発表した。容疑者の手口は、李某へ電話し、事件の嫌疑があり無罪を証明する必要があるなどと言ってウイルスソフトをダウンロードさせ、李某の携帯電話機能を一部遠隔操作することに成功した。詐欺防止センターは、李某へ電話するも着信拒否されたことから、李某の娘に事情説明、協力を仰ぎ、共に自宅を訪問し、李某の 10 万元の預金を保護した。

キ レンタカー転売未遂（膠州市）

6 月、膠東派出所は、レンタカーの名義人を変更し、不法転売しようとした容疑者王某、孫某を刑事拘留したと発表した。調べによると、容疑者等はレンタカーショップ経営者である被害者と約 30 万元の価値を有する中古車のレンタル契約及び分割購入契約を結んだ後、保証金を支払った上で当該車両を使用していたが、数日後、虚偽の書類を作成してレンタカーを自己名義へと書き換えた。被害者は名義変更の事実気づき、容疑者等と音信不通になったことから、警察に通報し、容疑者等が逮捕されることとなった。

（4）交通事故関連

ア 交通死亡事故

(ア) 滕州市

滕州市公安局は、飲酒運転容疑者蔡某を刑事拘留したと発表した。調べによると蔡某は、5月4日、昼食で飲酒した後、そのまま車両を運転し、友人を連れて買い物に出かけた。同日午後4時頃、蔡某は速度超過運転を行った上、強引に他の車両を追い越そうとしたところ交通事故が発生し、6人が死亡、2人が怪我をする事故を引き起こした。

(イ) 荷澤市

5月12日午後2時頃、荷澤市某交差点において交通事故が発生し、4人が死亡、2人が負傷した。当時の事故状況について、陳某（58歳）は小型乗用車を運転し、信号無視の電動自転車と衝突した後、道路脇の三輪車2台と衝突したことが判明。（≠飲酒運転）

(ウ) 青島市

7月5日午後6時頃、青島市城陽区流亭双流高架橋において多重追突事故が発生し、1人が死亡、1人が怪我をした。警察は事故原因について飲酒及び薬物の影響を否定しているが、運転手薛某（50歳）を逮捕し、詳細は捜査中としている。

(5) その他

ア 個人情報販売事件

山東省青島公安サイバー安全部門は、大学生等を騙してインターネット上の様々なアカウントを作成させ、同学生の個人情報を転売していた広域事件を検挙したと発表した。

調べによると2024年、同サイバー安全部門は、事件の端緒を入手し、某アパート一室を搜索したところ、複数の若者が違法性の認識なくアルバイトとして自身の個人情報によってネット上の各種アカウントを作成、転売し、犯罪に加担している状況を現認した。突き上げ捜査の結果、全国6省85市を跨ぐ広域事件へと発展し、犯罪組織21グループ及び容疑者151人を検挙、パソコンなど犯罪道具531台、各種ネットアカウント7万件を押収し、事件関連金額は約4300万元にものぼることが明らかとなった。

イ 成人向け違法広告配布（萊西市）

6月、産芝水庫派出所は、自家用自動車に成人向け違法広告が貼付されているとの複数の住民からの通報を受理し、所要の捜査を通して容疑者2人を刑事拘留した。調べによると容疑者等は、手っ取り早くお金を得るため、成人向け違法広告を貼付する仕事を請け負い、人通りがない未明時間において、市内の団地や道路の駐車車両へ同広告を数千枚貼付し、約1万元の利益を得ていたという。

ウ 飛来物衝突死亡事故（徳州市）

6月9日夜、猛烈な風により高所からの落下物が小学三年生3人に直撃した。学校側は即時負傷した児童を病院へ搬送するも、1人が死亡、2人が軽傷する被害が発生した。神頭鎮人民政府は、適切に対応し、関連する調査部門を立ち上げ、危険の排除、安全を強化し、最大限注力して各事件事故の発生を防止するとしている。